



[様式第3号]

資料提供年月日	令和 4年12月14日		
問い合わせ先	課名	福祉援護課	
	電話	直通	803 - 1218
担当者	職名・氏名	内線	5455
	職名・氏名	課長	阿部 正人
		主任	吉田 明世

広 報 連 絡

- 件名 特別展「平和祈念展 in 岡山」を開催します
- 趣旨 平和祈念展示資料館（東京都新宿区）が所蔵する兵士、シベリア抑留者、海外からの引揚者に関する資料の展示を通じ、戦争が終わってからも、苦しくつらい体験をした人たちがいたことを伝えます。
また、岡山シティミュージアム内にある岡山空襲展示室と連携し、岡山空襲に関する資料とともに、岡山にゆかりのある兵士、抑留者、引揚者の資料も紹介します。
- 日時 令和5年1月7日（土）～22日（日）10時～18時
※入館は17時30分まで。10日（火）・16日（月）は休館
- 場所 岡山シティミュージアム 5階展示室（北区駅元町）
[入場料] 無料
- 主催等 主催：平和祈念展示資料館（総務省委託） 共催：岡山市
- 関連行事
 - 合同ギャラリートーク
日時：1月7日（土）・8日（日）・21日（土）・22日（日） 14時～
内容：平和祈念展示資料館と岡山空襲展示室の学芸員による展示解説を行います。
 - 会場めぐりクイズラリー
日時：期間中終日
内容：「平和祈念展 in 岡山」会場と岡山空襲展示室をめぐり、展示資料にまつわるクイズを解いていきます。

戦争の時代を生きた人たちの記憶

平和祈念展

in岡山



満州*から引き揚げる途中、
母親が娘に着せるため、
亡くなった赤ん坊のおむつで
作ったワンピース
*現・中国東北部
(平和祈念展示資料館 所蔵)

兵士、
シベリア抑留者、
海外からの引揚者に
関する資料の
展示を通して、
戦争が終わってからも、
苦しくつらい
体験をした人たちが
いたことを伝えます。



シベリア抑留者が飢えに
耐えかね、袖の部分をバンと
交換した防寒外套
(平和祈念展示資料館 所蔵)



「画家・田中武一郎が描いたシベリア抑留」

《伐採》(平和祈念展示資料館 所蔵)

令和5年 1月7日(土) → 22日(日)

※10日(火)、16日(月)は休館
10時～18時(入館は17時半まで)

入場無料



岡山シティミュージアム 5階展示室

(岡山県岡山市北区駅元町15-1 リットシティビル南棟)

主催：平和祈念展示資料館(総務省委託) 共催：岡山市
後援：岡山県、岡山県教育委員会、岡山市教育委員会

連携展示

「岡山の兵士、
抑留者、引揚者」
会場 岡山空襲展示室



《空襲後の岡山駅》
1945年7月
松浦碩二氏撮影

イベント

参加者には記念品を進呈します。

合同ギャラリートーク

平和祈念展示資料館と岡山空襲展示室の学芸員による
展示解説を5階展示室で行います。

1月7日(土)、8日(日)、21日(土)、22日(日)
14時から(約40分) ※事前申込不要

会場めぐりクイズラリー

「平和祈念展 in 岡山」会場と岡山空襲展示室をめぐり、
展示資料にまつわるクイズを解いていきます。

期間中終日 ※事前申込不要

平和祈念展 in岡山

平和祈念展示資料館（東京都新宿区）は、さきの大戦における兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の労苦を多くの方々に知っていただくための施設です。

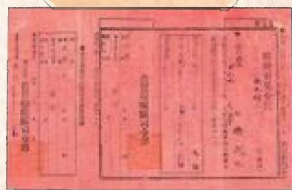
常設展示のほか、全国各地で展示会を開催しています。

「平和祈念展 in 岡山」では、当資料館が所蔵する代表的な資料とともに、抑留体験者が描いた絵画を展示します。

また、岡山空襲展示室と連携し、同室が所蔵する岡山空襲に関連する資料と、岡山にゆかりのある兵士、抑留者、引揚者に関する資料も紹介します。

兵士

国のために家族を残して戦地に向かい、命をかけて戦い、苦しくつらい体験をされた方々です。



臨時召集令状（赤紙）

戦後強制抑留者

戦争が終わったにもかかわらず、シベリアを始めとする旧ソ連やモンゴルの寒さが厳しい地域において、わずかな食べ物と劣悪な環境の中で、つらい仕事をさせられた方々です。

収容所で、抑留者が白樺の木を削って作った食器



海外からの引揚者

敗戦によって生活のすべてをなくし、命さえ危険な状況で、必死の思いで日本に戻ってこられた方々です。



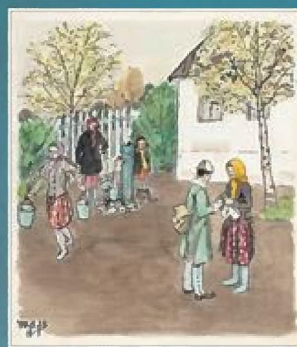
満州から岡山へ引き揚げる際に使用した、鯉のぼりで作った手提げ袋

絵画コーナー

「画家・田中武一郎が描いたシベリア抑留」

田中武一郎は明治41（1908）年、広島県に生まれました。

昭和19（1944）年、36歳で満州（現・中国東北部）へ召集され、終戦後、シベリアで抑留生活を送り昭和22年に復員しました。昭和48年に亡くなるまで、ライフワークとして、自身の体験に基づいたシベリア抑留の絵を描き続けました。



《ヨーグルトをくれる主婦》

※所蔵先の記載がないものは平和祈念展示資料館蔵

連携展示「岡山の兵士、抑留者、引揚者」

昭和20（1945）年6月29日未明、空襲を受けた岡山市は焼け野原となり、多くの犠牲者が出ました。岡山空襲展示室は、戦争の悲惨さ、平和の尊さを次世代に伝えてゆくため、関連資料の収集や展示、戦争を経験された方々への聴き取り調査などを行っています。今回は「平和祈念展 in 岡山」にちなみ、岡山空襲に関する資料とともに、岡山の兵士、岡山の戦後強制抑留者、岡山への海外からの引揚者に関する当室所蔵の資料を紹介します。

岡山空襲展示室 開室時間 10:00～18:00（入室は17:30まで）
休日 月曜日（祝日の場合は翌日） 入料 無料

岡山市北区駅元町15-1 岡山シティミュージアム5階
Tel.086-253-7070 <https://www.city.okayama.jp/okayama-city-museum/0000022330.html>



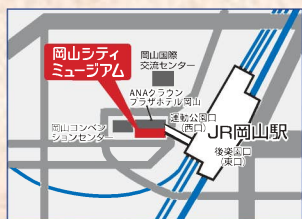
岡山空襲で被災した鐘
〔岡山シティミュージアム 所蔵〕



陸軍の軍曹が
使っていた水筒
〔岡山空襲展示室 所蔵〕



シベリアに抑留された俘虜が
岡山の親族にあてた葉書
〔岡山空襲展示室 所蔵〕



会場 岡山シティミュージアム 5階展示室

（岡山県岡山市北区駅元町15-1 リットシティビル南棟）

JR岡山駅東西連絡通路直結

※専用の駐車場はございません。お車でお越しの際は、近隣の有料駐車場をご利用ください。

入場
無料

ご来場の際には、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策にご協力をお願いいたします。

混雑時には、入場制限を行う場合があります。